

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

2人のベトナム人介護福祉士 始動 (2～4面)

- 県介護支援専門員実務研修受講試験案内
- 新潟医療福祉大学とユニゾンプラザ図書情報ルームが連携

6月号
2018
第790号



絵 高橋 郁丸「米福糠福」(漫画家・新潟市中央区)・文 11面

2人のベトナム人介護福祉士 始動

新潟市中央区の国際こども・福祉カレッジで学んだ2人のベトナム人留学生が介護福祉士の国家試験に合格、4月から新潟市北区の別々の福祉施設で勤務しています。笑顔と親身な取り組みで利用者らを支える2人に、現場に立って1カ月余りの思いを伺いました。併せて、介護現場で進むグローバル化について、新潟県介護福祉士会会長の宮崎則男さんに寄稿いただきました。

笑顔忘れず、親身に意思疎通図る

介護福祉士として歩み始めたのは、グエン・ティ・ホン・シンさん（23）とグエン・ホアイ・アインさん（24）。昨年秋の改正入管難民法施行で、日本で介護福

祉士の資格を取得すれば在留資格を得ることができるようになり、施行後初の国家試験を突破しました。

2人は、4年前に相次いで来日、市内の別の専

門学校で日本語を学び、日常会話に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解できる「日本語能力試験N2」を取得。続いて同カレッジで2年間、座学や実習に励みました。併せて、同カレッジの全面的なバックアップで国家試験対策にも傾注してきました。

5月初旬には在留資格を得て、それぞれ実習を積んできた施設でフルタイム勤務をしています。

◇ ◇ 「自分のおじいさんに接するようには、大切に支援していきたい」

社会福祉法人愛宕福祉会・特別養護老人ホーム「愛宕の園」で働くシンさんの心構えです。入所の1ユニット25人のお年寄りが担当です。施設の平均年齢は約84歳とのこと。「役に立っている」というやりがいや日々感じながら、仕事に励んでいます。

実習生としてのシンさんを覚えていた方も多く、介助や声掛けもやりやすいと言います。持ち前の明るさ

と誠実さで、スムーズに受け入れられています。

「利用者としてしゃべったりするのは楽しい。昔はこんな仕事をしていた、などの情報は次の声掛けに役立つ。生活歴は聞いていて勉強になる」

一方で、職員に頼っていた実習生の時とは違い、大きな責任感も背負っています。「体の大きな人の移動など、うまくいかない部分もあるが、基本を学び、どうすれば安全に移動、介助ができるか考えなければならぬ。職員としてやり方を身に付けなくては」

指導に当たる結城聡子さんは「一人一人支援方法が違うが、メモを取り覚えていく。空き時間には積極的にコミュニケーションを取っている」と評価。施設長の廣瀬哲也さんも「とても熱意がある。職員不足の中で今後もベトナムの方々などに頼っていくと思われる」と期待を寄せています。

シンさんは今後について



食卓の介助をするシンさん。飲み込んだことを確認しながら、スプーンを口に運ぶ



歌を口ずさんでいたお年寄りと一緒に歌うアインさん。
お年寄りが思わず涙ぐんだ

けることが難しい時もあるが、毎日頑張っています」

アインさんも近くの医療法人愛広会・介護老人保健施設「尾山愛広苑」で働いています。

「実習生の時とは違い、全部覚えなくてはいけないし、責任を持たなくてはいけない。一人一人に適切な対応をするためには、たくさん観察

「当面は日本で経験を積んでいく。ベトナムに帰るかは分からないが、貢献できることがあればやっていきたい」と話します。今は中国語の勉強も始めたと言います。常に前向きです。



「利用者の方々が、いろんな事を教えてくれる。また応援もしてくれる。それが力になる。コミュニケーションが大切だと思う。日本語に自信がなく、声を掛

をしなければならぬ」
介護するお年寄りは70人ほど。食事から、排せつ、入浴など介護全般を担いますが、そこには常にほほえみがあります。眼鏡の奥の優しい瞳で見つめます。

献身的な姿勢は、最初は「名前がカタカナだね」と言っていた利用者にも好意的に受け止められ、「いらっしやい。久しぶりだね」と正規職員として戻ったアインさんに温かい言葉を掛け

てくれたと言います。事務場の評価が良かった。必要な人材であり、これからもアインさんのような外国籍の方を受け入れていく」と話します。

指導役の渡辺琴美さんは「仕事の一つ一つに真面目に取り組み、誠実に利用者の声を聴いている」と評します。同時に「いろいろなプレッシャーにつぶされないようにフォローしてい

く」と話し、アインさんも「みんなが教えてくれる」と先輩職員を頼りにしています。

アインさんは「日本に住んで、長く日本で働きたいな」と将来像を描いています。

2人に続く留学生も全面的バックアップ

2人が学んだ国際こども・福祉カレッジでは、国家資格を持つ卒業させる

ことを目標に、在留期間更新許可申請から個別の受験対策などの応援をしてきました。

2人の介護福祉学科での2年間は、専門用語に苦勞しながらの座学と、福祉施設での実習への取り組みでした。実習は1年生で2回、2年生で1回、合わせて60日間に及び、「ひゃっこい」など

の方言に戸惑いながら苦勞を重ねました。

指導教員の坂上美由紀さんは「自分たちから学ぼうという意欲があった。クラスメートも困ったことがあると手を差し伸べた」と振り返ります。受験対策では「試験問題独特の言い回しの読解に苦勞した」と話し、合格を喜ぶとともに、「無事に過ごしてほしい」と親心のぞかせます。

また、教務部長の富里謙一さんは「今後も外国人留学生の受け入れを続けていく」と介護人材のグローバル化を見据えます。

同カレッジでは、2人に続くベトナム人留学生ブイ・ティ・クエン・チャンさん(23)が入学、勉学に励んでいます。学校側ではシンさんと同様に全面的にバックアップする考えです。そのチャンさん、夏休み明けに最初の現場実習が待っていますが、「勉強して頑張ります」と明るい返事が返ってきました。



国際こども・福祉カレッジで授業を受けるチャンさん。
2人の先輩の背中を追う

チューリップが見ごろの季節になりました。「咲いた咲いたチューリップの花が並んだ並んだ赤白黄色…」

最近、この歌を聞いて、社会福祉につながるものだと思います。「どの花見てもきれいだな」「一人ひとりの人間は何物にも代えられない。認められた素晴らしいもの」という願いを表していると思います。全ての人が自分らしく、良い香りのする花を咲かせてほしいです。

さて、私も介護実践現場に身を置いて30年が経過しました。これからの超高齢社会においては、質の高い介護福祉士や介護職員を養成していくことが、介護保険制度の信用と安定化をもたらしものです。介護保険制度で示されているように利用者の尊厳を守り、自立支援に資する介護を行うためには、高い知識、技術、倫理が求められており、介護職員には高い教育と専門性が必要です。

一昨年、改正出入国管理及び難民認定法と外国人技



スウェーデンで研修中の宮崎則男氏(左)

同じ空の下で

公益社団法人新潟県介護福祉士会

会長 宮崎 則男

能実習適正法が成立したことにより、外国人が介護分野で働く流れが一気に拡大されることとなり、介護分野もグローバル化の流れが押し寄せています。

3年程前にスウェーデンに介護実践現場の実習で2週間ほど滞在しました。海外の介護を学びたい気持ちからでした。同じ介護の仕事をしているもの同士、あうんの呼吸があり、利用者ともカタコトの英語と非言

語的コミュニケーションで交流できました。他国で相手とコミュニケーションをとるときに一番大切なのは、自分の言いたいことを相手に「伝えたい情熱」だと気付き、私の英語の語彙が不足していたため、とにかく相手の言っていることに耳を傾け、多くの言語に触れ、臆せず話すことが大切であると感じました。当然の事ながら専門分野や緊

急時の対応、認知症ケアは、やはり母国語を話せないとなかなか感じました。スマートフォンなどIT分野の音声翻訳の進化を期待したいと思います。

実習中では、スウェーデン出身の「A B B A」の歌を身ぶり手ぶりで披露すると「A B B Aは、日本でも有名なのか」と喜んでくれました。そして、「日本の伝統文化」を伝え、「侍」「富士山」「寿司」など自分の

言葉にいかにも注目してもらい、他国の文化に敬意を払い、それを相手に伝えることが大切であることも強く感じました。

最終日のレセプションでは、日本の介護実践現場の様子についてDVDを使って説明すると、スウェーデンでは介護者の身体を痛めないことが前提にあり、「なぜわざわざつらい姿勢を取るのか」「椅子を使って話をすれば自分も楽なのに」「残業して仕事をするのはプロではない」などと言われました。あまり、日本的すぎるのも他国から受け入れにくいものだと思います。ホームヘルプサービスと一緒に活動した、韓国人の30代の彼女は「スウェーデンで介護の仕事をするのが夢だった。もう、3年になる。一緒に働かないか」と話してくれました。

これからは、他国から夢をもって日本の介護分野で働きにくる人的交流がすすめられます。前頁で紹介されましたとおり、この春にベトナムからの留学生が、

介護福祉士を取得して新潟市の介護施設に勤務しています。私たちが培ってきた介護福祉の理念や倫理を、日本人ではない人にも理解できるように伝えなければなりません。また、彼女たちには、自国に戻った時は、母国の介護サービス振興の一翼を担えることを期待いたします。これからの介護実践現場の中で、日本の介護や文化の素晴らしさを感じてもらい、自分らしい花を咲かせて欲しいです。それが、国際貢献であり日本の豊かさや介護の質の向上につながると思います。

今後予想される介護のグローバル化には、他国の文化、思想を柔軟に受け入れ対応する必要があります。国や文化の違いはあっても介護の原点である生命の畏敬はかわることはありません。時々、スウェーデンの施設の様子がスマートフォンに送られてきます。同じ空の下で、ともにがんばりましょうと返信しています。

平成30年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)			
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

●後遺障害も
フルカバーなので
安心です!!

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車ボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や
ボランティア活動の
さまざまな行事における
ケガ、賠償(主催者責任)
を補償!!

保険金額

A・B・Cプラン共通 (A・B・Cプラン共に熱中症危険補償特約セット)

保険金の種類		補償内容	
ケガの補償	死亡保険金	400万円	
	後遺障害保険金	400万円(限度額)	
	入院保険金日額	3,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	35,000円
		外来の手術	17,500円
通院保険金日額	2,200円		
賠償責任	対人事故	1名・1事故 2億円(限度額)	
	対物事故	1事故 1,000万円(限度額)	

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

保険料(1名あたり)

※詳しい内容は、パンフレットをご覧ください。

Aプラン (宿泊を伴わない行事)			
A1の行事	A2の行事	A3の行事	
1日 28円 (最低保険料 560円)	1日 126円 (最低保険料 2,520円)	1日 248円 (最低保険料 4,960円)	
Bプラン (宿泊を伴う行事)			
1泊2日(2日間)	2泊3日(3日間)	295円	
Cプラン (宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できない行事)			
A1の行事			
1日 28円(最低保険料 560円)			

送迎サービス補償

(傷害保険)

- ◆送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

- ◆ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事社〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

赤い羽根情報



広域助成事業紹介

不登校・ひきこもり啓発、支援者育成事業

NPO法人ここスタ (関川村)

私たちの原点は「自らが不登校・ひきこもりの子どもを持ち苦しい思いをしながら、他市町村での親の会やカウンセリングなど必死で社会資源を探し奮闘しながら闇から脱出した経験」であり、共同募金助成金を受けて不登校・ひきこもり啓発、支援者育成事業等を行っています。

自分たちの体験が、同じように悩んだり、苦しんだりしている方々の助けになればとの思いで設立当初から活動してまいりました。「二人を助けられなければ大勢は助けられない」「親、家族が楽になることで子どもが元気になる」をモットーとし、身近な一人一人の、そして地域の社会資源になれればと思っています。

前年度、今年度と助成金を頂き、「ここスタ」は皆様方にたいぶ認知されて来たように思います。不登校・ひきこもりの地域課題

は、自立をして働けるようになることで、地域活性にも繋がります。研修を通して、支援者のスキルアップもかなり図れたと思います。現在進行形の当事者は、希望が持て、グループで助け合いながら成長していけるものと考えています。

たくさんの方々のご寄付を頂き本当にありがとうございます。今後も地道に活動してまいります。これからも応援をよろしくお願い申し上げます



座談会の様子



さがしもの

皆さんの「幸せ」ってなんですか？家族と過ごすこと、趣味に没頭すること、おいしいものを食べることに、睡眠をたくさんとること。「幸せ」の形は無数にあつて、誰にも否定されるものではない。そんなことは誰でも知っているし、無意識に「幸せ」を探している。

皆さんの「後悔」ってなんですか？もっと勉強しておけばよかった、スポーツ大会でいい結果が残せなかった、もっと遊んでおけばよかった、大切な人との離別。「後悔」は日常の至る所で小さなものから大きなものまで、数多存在する。

この二つの「要素」は表裏一体の関係であり、人は「幸せ」をつかむためにより良い「理想」

を追い求めている。あまりにも単純である。そんな私も相変わらず皆さんの「幸せ」を感じるため、皆さんの「理想」を探しては、見つけて飾っている。

しかし、理想を追い求め、積み重ねればそれは大きくなりすぎて、自分では抱えきれないものになっていく。そして、何かを手放さなければ上手く進めない状況になり、手放してしまつたものには、瞬く間に「後悔」が付いてくる。当たり前が存在していたものまでも手放すことにもなる。どれだけ後悔しても巻き戻せない過去と一緒に過ごしていかなければならない。

「何かを手に入れたら、何かを手放さざるを得ない」なんて言葉をよく耳にする。そんな場面めつたにあるわけない。と半笑いで過ごしてきたが、現実にもその場面に遭遇したとき、ぼうぜんとした。「どちらも手放したくない。」そう思う私はあまりにもワガママで、都合の良い夢だと同時にあきれた。そうして「理想」を追い求め、「後悔」しながら、それでも淡い期待もしながら「幸せ」を探して自己を満たしている。

(三青)

寄付ありがとうございました

(敬称略)

日付	寄付者	寄付額
4月13日	㈱ツルハホールディングス・クラシエホールディングス㈱	車椅子5台
5月7日	中山 光	10,372円
5月14日	全富士通労働組合連合会 信越地域懇話会	41,000円
5月16日	名鉄観光サービス㈱名鉄観光協定旅館ホテル連盟 名鉄マーチ会、マーチバス会	133,000円

伝えてほしい 「36°Cの言葉。」

日本福祉大学と朝日新聞社は、「わたしと福祉」をテーマとした第15回高校生福祉文化賞エッセイコンテストの作品を募集しています。「36°Cの言葉。」というキャッチフレーズには、高校生自身の体温が伝わる言葉で語ってほしいという思いが込められています。4つの分野「ひと・まち・暮らしのなかで」「スポーツとわたし」「日常のなかでつながる世界」「社会のなかの『どうして?』の中から一つを選び、

身近な体験を通して感じた「福祉への思い」を800字以内
にまとめて下さい。
応募締め切りは、7月31日(火)で当日消印有効です。
郵送の場合は、〒520-11102 滋賀県高島市野田1678(株)TADコーポレーション「日本福祉大学高校生福祉文化賞」事務局に、Eメールの場合は、
18essay@ml.n-fukushi.ac.jp へ送ってください。

第16回高校生福祉文化賞エッセイ募集

中央競馬馬主社会福祉財団は、民間社会福祉施設などに勤務する職員が、外国の施設における実習を通じて施設サービスを通して、専門的な知識、技能を習得し、社会福祉施設サービスの向上に資することを目的に、研修費用を助成する事業を行っています。募集する研修生について

平成31年度の 民間社会福祉施設職員 海外研修生を募集

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団

では、職種や年齢、福祉施設などでの経験年数、英語能力などの要件があります。応募締め切りは7月31日(火)です。
詳しくは、新潟県福祉保健部福祉保健課企画調整室(025-280-5176)までお問い合わせください。中央競馬馬主社会福祉財団ホームページをご覧ください。

福祉NEWS

2018年4月11日~2018年5月10日

■総人口7年連続減少

総務省が4月13日公表した2017年10月1日時点の人口推計によると、外国人を含む総人口は1億2670万6千人で、前年から22万7千人(0.18%)減った。マイナスは7年連続。65歳以上の高齢者は3515万2千人で全体の27.7%を占め、割合は過去最高を更新した。人口減少は40道府県に及び、増加は7都県。増加率は東京都の0.73%が最高で、東京一極集中が続いている。人口が増えた7都県は東京、埼玉、千葉、神奈川、愛知、福岡、沖縄で前年と同じだった。人口減となった40道府県のうち、減少率が最も大きかったのは秋田の1.40%で、青森、岩手と続いた。新潟県の推計人口は全国15位の226万7千人で、16年より1

万9千人減少し、順位は変わらなかった。

■「利用減や中止」3.8% 介護2割負担の人

2015年に介護サービス利用時の自己負担割合が1割から2割に引き上げられた人のうち、3.8%がサービス利用を減らしたり、中止したりしたことが4月11日、厚生労働省の委託調査で分かった。自己負担割合が1割に据え置かれた人の約3倍で、理由は「支出が重い」が最多だった。

■働く人の2割 医療・福祉分野2040年

厚生労働省は、介護職員や看護師など、医療・福祉分野で働く人数の推計(暫定値)を公表した。2018年時点で全就業者

の12.5%にあたる823万人が働いており、それが25年には約15%の約930万人、40年には約19%の約1060万人にまで増加するとしている。25年には団塊の世代が全員、75歳以上になり、医療、介護の需要が増える一方、少子化で全体の就業者数は減る見込みだ。医療、介護サービスの需要予測に基づいた推計で、他産業との人材の奪い合いになれば十分な人手を確保できず、必要な医療や介護サービスを維持できなくなる危険性がある。厚労省は40年までに3年以上、健康寿命を延ばし、高齢者らの就労を促すほか、ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)、ロボットの活用促進などで医療、介護サービスの生産性の向上を目指したい考えだ。

福祉の店 味わい散歩

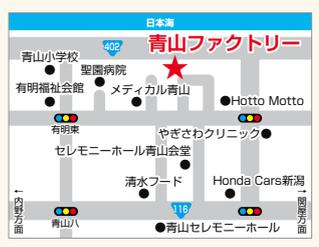
青山ファクトリー

社会福祉法人 新潟地区手をつなぐ育成会
(新潟市西区青山7丁目1-4361149)

◇ 9時～16時

◇ 土・日・祝日休み

◇ ☎025(26)52000



売れ筋は総菜いっぱいの三色パン

アットホームな雰囲気
で、利用者の方々がパンや
クッキーなどを中心に製
造・販売しています。まず
は売れ筋の三色パン。野沢
菜やきんぴらなど総菜系の
具材がしっかりと入った満足
の一品です。
また、チョコクリームが
いっぱい詰まった手書きの



クッキーで
は、シナモンな
どのスパイスが
入ったジン
ジャークッキー
が人気です。ス
ティック状とい
うのもユニーク
で、リピーター

顔がかわいい、くまチョコ
パンがあります。ほかには、
角切りチーズたつぷりの
チーズパンやハムとチーズ
がデニッシュ生地とマツチ
するハムチーズデニッ
シュ、程良い辛さが特長の
焼きカレーパン、黄桃デ
ニッシュなどおいしさいっ
ぱいのラインナップです。

が多いとのこと。この
ほか、ピーナッツバターや
きなこ、プレーンのクッ
キーも好評です。
利用者の作業の幅を広げ
ようと、たまごボーロを製
造、1年ほど前からプ
レーンやきなこ、チョコモ
カのカップケーキも作って
います。価格も100円で
求めやすく、食べやすい手
ごろなサイズです。

各製品に使っている小麦
粉は厳選したもので、全体
的に甘さは控えめとなっ
ています。
新潟市中央区のユニゾン
プラザ1階、福祉の店パ
レットで買うことができま
す。

新潟県福祉人材センターでは、『福祉人材無料職業紹介事業』を大きな柱に、福祉の仕事や就職活動についての相談や情報提供など、福祉人材の確保や定着に向けた事業を行っています。

福祉人材無料職業紹介事業

県内3ヶ所の相談窓口で、福祉施設等へ就職を希望する方の相談や、求職登録を行い、福祉事業所の求人に応じて福祉職場を紹介しします。長岡・上越での相談予約は下記電話番号までお電話ください。

【相談窓口】

新 潟

場 所

新潟ユニゾンプラザ3階
〒950-8575
新潟市中央区上所 2-2-2

相 談 日

月曜日～金曜日
(土・日、祝日、年末・年始は除く)

相 談 時 間

9:00～17:00 (1人30分以内)

予約
不要

長 岡

場 所

長岡市社会福祉センタートモシア2階
〒940-0071
長岡市表町2-2-21

相 談 日

月曜日～木曜日
(金・土・日、祝日、年末・年始は除く)

相 談 時 間

10:00～15:00 (1人30分以内)

予約受付時間

9:00～17:00
(土・日、祝日、年末・年始は除く)

要
予約

上 越

場 所

上越総合福祉センター2階
〒943-0806
上越市木田新田1-1-3

相 談 日

毎月第3水曜日
(祝日、年末・年始は除く)

相 談 時 間

13:00～15:00 (1人30分以内)

予約受付時間

9:00～17:00
(土・日、祝日、年末・年始は除く)

要
予約

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 新潟県福祉人材センター TEL 025-281-5523 FAX 025-282-0548

連携強化へ図書館相互利用

新潟医療福祉大学
地域連携推進センター長 渡邊 敏文

新潟県社会福祉協議会と新潟医療福祉大学は、福祉社会の発展及び地域創生に寄与するために、相互が連携することに合意し、2015（平成27）年3月26日に包括連携協定を締結しました。これまで県民向けの市民講座などを開催してきましたが、さらに連携を深化させ、県民のQOL向上に繋げるため、新潟県社会福祉協議会の「図書閲覧室」を活用して、保健・医療・福祉・スポーツなどの情報を提供させていただくこととしました。

最初は、新潟医療福祉大学所蔵の図書、各学部・学科の発行図書・報告書、教材（テキスト）、科研費関係の報告書、学内研究奨励金

に基づく報告書、個人研究の書籍・報告書、自治体との共同報告書などを展示するところから始めて行きます。

その後、取り寄せサービスとして、必要とする資料が新潟県社会福祉協議会「図書閲覧室」にない場合、新潟医療福祉大学の図書館から複写物や現物を取り寄せることができるようになることも考えています。なお、新潟医療福祉大学の図書館は、学外者も入館することができ、貸し出しも行っていますので、こちらも、ぜひ、ご利用ください。

特別コーナーを新設

シニア向け図書64冊

図書館連携の第1弾とし

新潟県社会福祉協議会「図書閲覧室」と新潟医療福祉大学図書館の相互利用について

○超高齢社会を迎えている現在、県民のQOL向上に繋げるため、新潟県社会福祉協議会と新潟医療福祉大学が連携し、「図書閲覧室」を活用して、保健・医療・福祉・スポーツ等の情報を提供します。

包括連携協定

○新潟県社会福祉協議会と新潟医療福祉大学は、福祉社会の発展及び地域創生に寄与するために、相互が連携することに合意し、2015年3月26日に包括連携協定を締結しました。

共に生き共につくる
福祉社会の実現

新潟県
社会福祉協議会
図書閲覧室

関係団体等との連携による
地域福祉の推進

相互利用構想

- ①新潟医療福祉大学図書コーナーの設置
- ②取り寄せサービス
- ③新潟医療福祉大学図書館利用

優れたQOL
サポーターの育成

新潟医療福祉大学
図書館

地域・産官学連携の
推進

て、新潟医療福祉大学所蔵の「60歳からの知的生活セカンドライフはこう生き

たい」（日本実業出版社）や「シニアの転倒予防に役立つ体操・ゲーム 支援の

ヒントと実際」（ミネルヴァ書房）など、シニア向けの生き方や食事、健康づくり、医療情報などの図書64冊をお借りいたしました。

早速、図書閲覧室内に特別コーナーを設けましたので、ユニゾンプラザにお越しの際は、ぜひ活用ください。貸し出しもOKです。図書閲覧室は同プラザ2階にあります。

図書閲覧室では、今回の図書館連携などの取り組みを通して、図書内容の一層の充実に向けて行きます。気軽に来館し、書籍を手にとってください。



ユニゾンプラザ2階の「図書閲覧室」に設けられた特別コーナー

新潟の民話

とんと昔あったてや、米福と糠福とい
たつたと…。という語りで始まるこのお
話は、東北から中部地方に伝わっている
昔ばなしです。米福は継母まははの連れ子で、
糠福は母を失った継子ままごです。継母は糠福
につらくあたり、無理難題を言いつけま
す。

米福糠福

越後のシンデレラ物語

に行きます。美しい糠福の姿に芝居小屋
は騒然となり、その場にいた大旦那さま
(お金持ち)に見初められます。足早に
芝居小屋を去った糠福を大旦那さまは探
します。その手掛かりとなったのが、片
方残された下駄げたと足袋。継母は、「芝居
に行ったのは米福」と訴えますが、履物
が決め手となり糠福は大旦那さまに嫁入
りします。

この物語を、昔話蒐集しゅうしゅうで有名な故・水
沢謙一先生は「越後のシンデレラ」と呼

2人の娘に袋を持たせて山に栗拾いに
行かせますが、糠福の袋には穴があいて
おり、いくら拾っても袋がいっぱいにな
りません。米福は糠福がこぼした栗を拾
い、袋いっぱいにして家に帰ります。糠
福は泣く泣く山で一夜を明かしますが、
亡き母の霊に助けられ、与えられた打ち
出の小槌こづちで幸運を得ます。

糠福に家事を言いつけ、継母と米福が
芝居を見に出かけると、糠福は小槌こづちで着
物や履物、お供や駕籠かごを出して芝居を見

びました。博物学者の南方熊楠みなみかたくまぐすは、中国
にも類似の継子いじめの物語があると指
摘しています。
この物語、姉妹の名が逆だったり、栗
福とか、米袋糠袋と伝えている所もあり、
継子いじめ以外にも意味がありそうで気
になります。

文・絵 高橋 郁丸

(新潟県民俗学会理事)

新潟妖怪研究所長



新潟ユニゾンプラザ貸室 情報

◆主な貸室の紹介 【特別会議室】



【定員】60名
【広さ】186㎡
(カーペット敷)

スクール形式では最大60席でのご利用
が可能です。
また、口の字形式など目的に合わせたレイ
アウトで、各種セミナーや面接・筆記試
験会場、社内外の会議など幅広くご利用い
ただけます。



貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など
用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みくだ
さい。貸室の予約状況も公開しています。

URL : <http://www.unisonplaza.jp/>

【中研修室】



【定員】80名
【広さ】236㎡
会議・セミナー・教
室など幅広い用途にお
使いいただけます。
跳ね上げ式テーブル
により、配置換えの移
動も容易にできます。

福祉の現場

雪井 幸太郎さん

(一般社団法人ライフデザイン代表理事)

No.30



障がい者、高齢者、触法者、未成年者ら生活困窮している人の生活環境をサポートし、自立支援を行うライフデザインを立ち上げて5年。運営する共同住宅に受け入れた数は合わせて120〜130人に上ります。

その住環境は古き良き長屋をイメージしています。生活基盤となる「すみか」を確保し、人と人のつながりの中で、当たり前のように助け合い、尊重し合い、生活スキルのアップを目指します。「行政や福祉の縦割りのほさまに落ち込んだ人たちにとって最後の受け皿。運営などを透明化して、すくい上げていきたい」。優しい笑顔に懸ける思いが表れています。

共同生活ではスタッフが、食事などのサポートをするほか、行政や関係機関との窓口・

長屋的生活をチームで応援し、自立を支援

橋渡し役となります。入居者同士のトラブルについても、スタッフを介した解決を図りますが、介護や介助はありません。他人との距離感を大切にしながらの生活です。飲酒や火気の取扱いのほか、金銭・物品の貸借、他入居者の部屋への出入りなどが禁止されています。このルールで縛られていると感じ、不満を募らせて退居する人もいます。ニーズの高さを示すように、今年には既に100件以上の問い合わせがあります。地域の人たちに受け入れられ、連携していくことを切に願っています。

高校時代のバイク事故で受けたりハビリティを契機に、「他人のためにになりたい」との思いを抱きました。児童養護施設の子どもたちに笑顔を届ける「新潟子ども未来塾」の運営に関わるほか、6月からは、障がいがある児童のための「放課後等デイサービス・りるの空」も開設しました。

自己分析はポジティブ。今年10月に開催の新潟シテイマラソンのフルマラソンに初挑戦する予定で、現在トレーニングに励んでいるところです。

新潟ユニゾンプラザ ライブラリー NEWS



コミュニティビジネスで 拓く地域と福祉

◆著者：諫山 正
◆発行：ナカニシヤ出版

地域や福祉を活かすカギはコミュニティビジネスが握る！基礎の概念整理から資金の問題、多くの実践を描くケーススタディまで、ソーシャルビジネス/コミュニティビジネスの現状を一冊で学ぶ。

社会関係の主体的側面と 福祉コミュニティ



◆著者：平川 毅彦
◆発行：ブイツーソリューション

地域社会に関する社会学的研究を踏まえ、社会福祉という視点からこの領域について更なる展開の可能性と課題について、探求してきた成果をまとめた一冊。

ご意見や感想お寄せください

- ◆「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
- ◆〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-12 新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
- ◆ファクス 025-281-5528
- ◆Eメール oasisu@fukushininigata.or.jp

問い合わせ 新潟県社会福祉協議会 新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム ☎025-281-5514

一紹介した資料のほか、福祉や女性に関する図書やDVDの貸出をしていますー

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人/関谷 政友
定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
平成30年6月1日発行 (毎月1日発行)
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷/島津印刷㈱